

令和 3 年度 第4号補正予算 主要な事業の説明書

(一般会計)

令和3年 第2回 嬉野市議会定例会提出

【様式1】

令和3年度 第4号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	3 生活保護費	目	1 生活保護総務費	事業名	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業				
総合計画による位置づけ			基本方針			ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野			④地域福祉・生活福祉
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	5	新規	○	継続		

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯に対しては、これまで緊急小口資金等の特例貸付などによる支援を行ってきたところ、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既に総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯が存在する。こうした世帯に対して、就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には生活保護の受給へつなげるために、「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給する。

2. 事業内容

社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特例貸付における総合支援資金の再貸付の最終借入月が令和3年8月末までに到来する世帯又は再貸付の申請が不決定となった世帯で、収入要件、資産要件、求職活動等要件を満たす世帯に、一月ごとに単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円を、申請月から三月支給する。申請者は、世帯の生計を主として維持している者で、申請期間は令和3年7月1日から令和3年8月末までとする。

3. 全体計画	事業期間	令和 3 年度	～	令和 3 年度	事業費(千円)	9,050
実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業内容					新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	
事業費(単位:千円)	補助率					9,050
財源内訳	国庫支出金	10/10				9,050
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源					

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)	
内	容	補助 単独
需用費	消耗品費	50
扶助費	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	9,000
	計	9,050

5. その他参考となる事項

【歳入】

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金(10/10) 9,050,000 円

【歳出】

(需用費) 消耗品費 50,000円

(扶助費)

単身世帯 60,000円×3月×16世帯 = 2,880,000円

2人世帯 80,000円×3月×8世帯 = 1,920,000円

3人以上世帯 100,000円×3月×14世帯 = 4,200,000円

9,000,000円